

付録 技術基準の一覧

無線設備 試験項目等		R Z S S B 周波数自動選択R Z S S B 周波数追従R Z S S B				
割当周波数又は指定周波数		1 4 2 M H z ～ 1 7 0 M H z 、 3 3 5 . 4 M H z ～ 4 7 0 M H z				
チャンネルの数又は間隔		6 . 2 5 k H z 1 2 . 5 k H z				
周波数の許容偏差(× 1 0 ⁻⁶)		チャンネル間隔 無線局の種類			6 . 2 5 k H z	1 2 . 5 k H z
		142～ 170MHz	陸上移動局及び携帯局		± 2 . 5 ± 2 + A ^注	± 3
		335.4～ 470MHz	陸上移動局 及び携帯局	1 W 以下	± 1 . 5 ± 0 . 7 + A ^注	± 3
				1 W 超	± 0 . 9 ± 0 . 7 + A ^注	± 1 . 7 ± 1 . 2 + A ^注
		注：この値は周波数追従機能を使用する場合に限る。この場合、Aは基準局の周波数の偏差 (A× 1 0 ⁻⁶) とする。				
占有周波数帯幅の許容値		チャンネル間隔		許容値(kHz)		
		6 . 2 5 k H z		5 . 8 k H z		
		1 2 . 5 k H z		1 1 . 5 k H z		
スプリアス発射又は不要発射の強度の許容値		1 W 超 : - 6 0 d B c 又は 2 . 5 μ W 1 W 以下 : 2 5 μ W				
空中線電力	指定値	5 0 W 以下				
	許容偏差	+ 2 0 % - 5 0 %				
隣接チャンネル漏洩電力の許容値		1 W 超 : 3 2 μ W 又は - 5 5 d B c 以下 1 W 以下 : - 4 5 d B c 以下				
副次的に発する電波等の限度		4 n W				
総合動作試験		周波数追従機能 周波数を自動的に補正する機能（周波数追従機能）を有している場合にあっては、通信の相手方である陸上局（基準局）からの電波を受信して得られる周波数を基準とすること。				